

ロシア連邦のウクライナに対する侵略に関するG7下院議長による宣言 仮訳

2022年3月16日臨時オンライン会合

我々、G7各国の下院議長は、ロシア連邦のウクライナに対する侵略戦争を最も強い言葉で非難する。その大規模な軍事侵略は、ベラルーシの支援を受けて、ウクライナの領土の一体性、主権及び独立を侵害している。

我々は、残忍な暴力に驚愕し、ウクライナ、そして自由と民主主義の中で生きたいという同国の願いに完全な連帯を表明する。この文脈において、我々は、この戦争の政治的責任が誰にあるかを認識しており、ロシア国家とこの戦争の支持者ではないロシア国民とを明確に区別する。

我々は、ロシア連邦に対し、敵対行為を即時に停止し、ウクライナから軍を撤退させるよう求める。ロシア連邦による攻撃は、国際連合憲章第2条4項に規定された武力の行使の禁止並びにヘルシンキ最終文書、パリ憲章及びブダペスト覚書におけるロシアの義務に違反しており、国際法の深刻な違反である。

我々は、停戦を実現し交渉への道を開くための二国間及び多国間の努力を歓迎する。我々は、ロシア連邦に対し、これらの交渉のためのいかなる前提条件も、特にその不法な領土的主張に関する前提条件を、放棄するよう強く求める。紛争の永続的な解決は、決して武力によって達成されるものではなく、外交的手段によってのみ達成され得るものである。我々は、国際的に認識された国境及び領海内におけるウクライナの領土の一体性、主権及び独立を無条件に支持する。

我々は、ロシア連邦に国際人道法を遵守するよう求める。市民は、軍事作戦の目標となり又は戦争犯罪の犠牲者となり続けてはならない。我々は、産科病院への爆撃や民間人への砲撃など、戦争犯罪及び人道に対する罪の疑いが強まり、国際刑事裁判所がウクライナにおける戦争に関する調査を既に開始していることを強調する。犯罪人は裁かれなければならない。人道回廊は、脆弱な人々の保護の機能を果たすべきであり、人々へ必要な物品を運搬するのに必要である。敵対行為が、封鎖の結果として、更に人道的破滅へと発展してはならない。我々は、したがって、ロシアの軍事指導部に対して、民間目標物への攻撃を控え、医療施設及び人員の安全を確保し、人道回廊を尊重するよう訴える。このことは、原子力安全を更に危機にさらすことを回避するための、原子力発電施設に対する軍事行動の即時停止及びIAEAの下での適切な運用確保を含む。

我々は、我々の議会が戦争の結果としてウクライナを逃れる人々を助け受け入れる責任及び近隣諸国として果たすべき特別の人道的任務を負う国々を支援する責任を確認することを目の当たりにした。我々は、ウクライナ最高会議及びその自由に選出された議会人と共にある。我々は、自由・民主主義・法の支配に対する深刻かつ現実的で増大する脅威に対して相応の対応を確保するため、我々の政府と緊密に連携していく。また、我々はロシア連邦の国際的・経済的孤立と偽情報との闘いに更に貢献していく。我々は、ウクライナ

国民及びその民主的に選出された政府に対し、そして自由な報道と戦争終結のために国の中で立ち上がる勇気あるロシア国民に対し、我々の完全な支持を表明する。

我々は、国際社会のルールに基づく秩序に完全にコミットするとともに、欧州の平和を回復し、外交的手段によって大陸の継続的な安定を確保することに我々の役割を果たすことを決意する。この文脈において、我々は、ウクライナ国民の権利の完全な再確認に基づく将来の平和会議の選択肢を模索することを強く求める。

ドイツ

カトリン・ゲーリング＝エッカールト

ドイツ連邦議会副議長

イタリア

ロベルト・フィーコ

イタリア下院議長

日本

細田 博之

日本国衆議院議長

英国

リンジー・ホイル

英国下院議長

欧州連合

ロベルタ・メッツォラ

欧州議会議長

米国

ナンシー・ペロシー

米国下院議長

カナダ

アンソニー・ロタ

カナダ下院議長

フランス

レティシア・サン＝ポール

フランス国民議会副議長